

毎日、 コップ一杯の牛乳を、 飲んでください。

熊本県菊池市七城町の酪農家、隈部憲一郎さんの一日は午前5時から始まります。

牛の観察、牛舎の掃除にはじまり、妻・雅子さんと従業員と一緒に朝の搾乳。

その後、仔牛への哺乳、搾乳室の掃除、飼料作り、堆肥出しなど

さまざまな作業をしたあと午後4時から2度目の搾乳。

掃除や後片付けで作業が終わるのは午後7時過ぎ。

体調不良の牛がいれば昼夜問わず対応し、牛のお産で日をまたぐこともあります。

長引くコロナ禍による牛乳消費の慢性的な落ち込み。

また、最近の円安や国際情勢による飼料の値上がりも深刻な問題です。

「台風災害や熊本地震を乗り越えた時より大変です」と、憲一郎さん

「毎日コップ一杯でいいので、牛乳を飲んでもらいたいです」

牛乳が普通に冷蔵庫に入っていて、たくさんの方が毎日コップ一杯牛乳を飲む。

そんな日常が今後も続くことを願って、365日、搾り続けています。

隈部家の三人の娘さんたちにお話を聞いてみました。

酪農のお仕事って、どう思いますか？

「ちよっと手伝うだけで疲れるのに両親は毎日やっています」と長女 千代乃さん
消費者のみなさんへ、メッセージはありますか？

「両親が愛情をもつてつくっているから、味がこくて、とってもおいしいです」次女 琴乃さん

「地元の牛乳は学校でも飲んで、友だちもおかわりします」三女 百利乃さん

最後に、雅子さんから。

「この子たちは牛乳を飲んで、健康に育ってくれました」

大変な状況の中、酪農家たちの思いはそれぞれ。でも、願いは同じです。



生乳品質共励会3部最優秀賞 熊本県菊池市 (有)隈部牧場

ミルキープ
MILKEEP! 牛乳を、まもろう。

九州の空と風と大地から。九州 Love Milk Club www.mirutomiku.jp

生乳生産者需要確保事業 (独)農畜産業振興機構 (一社)中央酪農会議 後援

